

会社案内

アスファルトプラント施設概要



つくりだす信頼と実績

わたしたち大同開発は、アスファルト合材の製造・開発を通じてお客様さまの思いを形にし豊かな社会づくりに貢献していきます。

アスファルト合材 製造・開発

大同開発株式会社



2015年春・北陸新幹線開業

会社概要

商号	大同開発株式会社
設立	昭和39年12月1日
資本金	8,200万円
代表者	代表取締役社長 小堀 憲昭
主な出資会社	加州建設株式会社 北川ヒューテック株式会社 沢田工業株式会社 島屋建設株式会社
主な事業内容	各種アスファルト合材の製造及び開発 アスファルト廃材・コンクリート廃材の破碎処理及び再生品の製造
所在地	
本社	石川県能美郡川北町字土室ほ9番地1 電話 (076) -277-8800(代) F A X (076) -277-2043
川北工場	石川県能美郡川北町字土室へ72番地1 電話 (076) -277-8899(代) F A X (076) -277-1159
能登工場	石川県輪島市三井町州衛13字23-5 電話 (0768) -26-1118(代) F A X (0768) -26-1345
取引銀行	北國銀行 野々市支店

プラント施設概要

大同開発は、全国的に大手ゼネコン資本と地場資本との共同出資によるプラントが数多く見られるなか、地場資本のみによる全国にも類を見ないプラントである。

石川県内のアスファルト合材工場は11社あり、その生産能力は、1プラントあたり60t/h～120t/hに対し当社は360t/hの突出した生産能力を有し、県内は勿論、全国的にも特筆すべき生産力を誇っている。

アスファルト合材は、一定温度を保持する制約があるため、他社工場は一部地域に配送が限定されるが、川北工場、能登工場を配置し県内全域を網羅しているのは当社のプラントのみである。

またアスファルトプラントの多くは、新潟鉄工所や田中鉄工をはじめとするプラント専門メーカー製であるが、川北工場1号機は当社が独自に開発した特許プラントである。

川北工場



川北工場新1号機特許認定（第3366600号）

敷地面積	44,012m ²
アスファルトプラント	
大同開発製	製造能力200t/h
アスファルト廃材破碎処理施設	処理能力200t/h

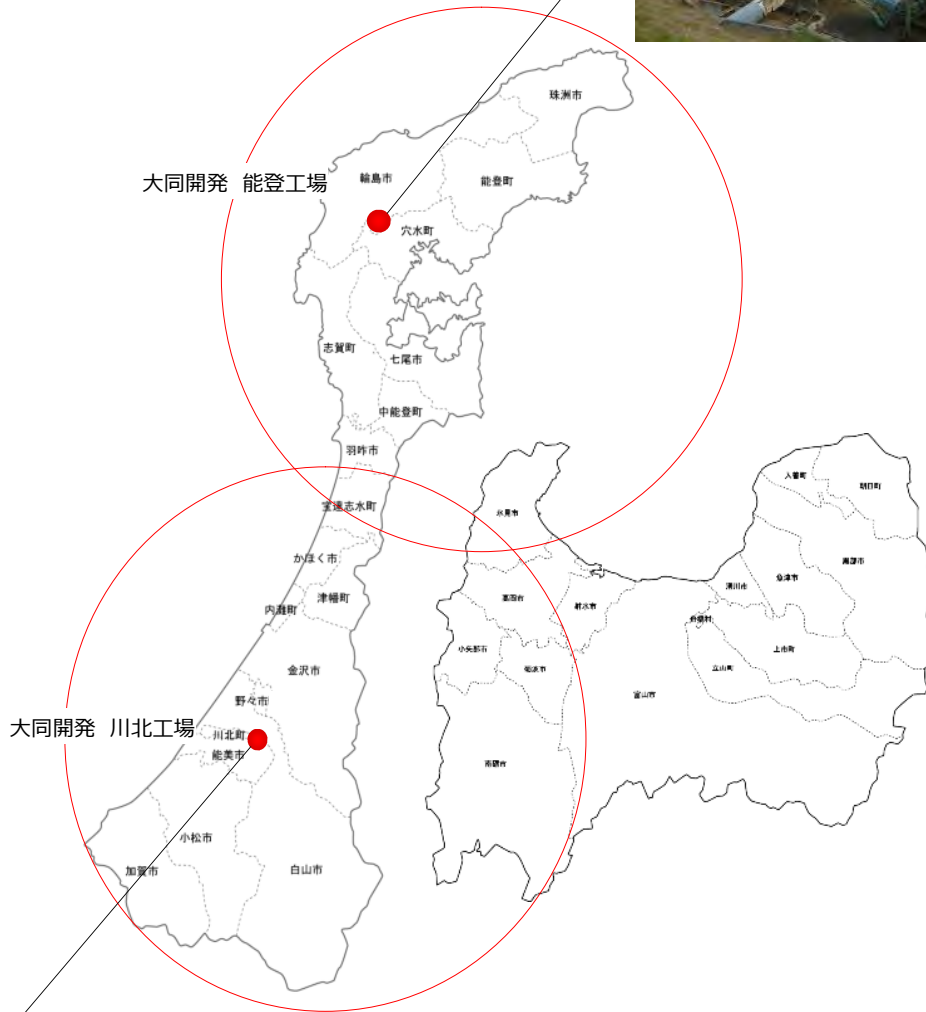
能登工場



敷地面積	35,586m ²
アスファルトプラント	
新潟鉄工所製	製造能力120t/h
アスファルト合材サイロ	貯蔵量150t
アスファルト廃材破碎処理施設	処理能力150t/h

流通ネットワーク

石川県内全域及び富山県奥西地域



一般舗装用合材及び景観舗装用合材等、お客様のニーズにお応えします。

アスファルト合材 製造・開発
大同開発株式会社



2015年春・北陸新幹線開業